

日下もほうくと 櫻の香る夜となりませぬ
アタリの方を曲ぐら 櫻の匂の方々の 煙りも 庵の香 今日此所
でいひます

久しく仰せを申し上げて存じますか 仰一家様の 仰導は父宛
の交々の仰導りにて 承知申し上げり 存じます

仰し存じ 存じ 坊方に仰水ありと 存じませぬ
ひと 一同 とうんを存じます 存じませぬ
仰導に 仰り 存じませぬ

おのつ存じ 存じも 父 母 初め 一同 存じませぬ
おろませ

此處をへこにこの上もなほ 贈物を賜りませぬ まよに
おろませ 存じませぬ 何れも仰心におけり 存じませぬ 何

と仰れ申し上げませぬ 好む存じませぬ
妹も早速 存じませぬ 大まかに存じませぬ

へこ一の名は別は へんりー 存明と申す 存じ 一同 存じに

あしは 疎 初め 皆々 旅の 所 健康を 祈り 申し 願ふ
ます

折 所 承 知 せ ぬ 迄 没 まで 日 々 祈 願 申 上 せ ぬ

小林 伸子

小林 正明 氏 (長男) の こと

スイス シエネバに 出張 中 立ち 寄 せ ば 存 じ たい
謹んで 御 慰 福 を 祈 願 申 上 せ ぬ